

【ファーストステップFX】

Part2 トレーダーとしての
レベルアップの為に

第3章 マインド

株式会社チャートマスター

■はじめに

【推奨環境】

このレポート上に書かれている URL はクリック出来ます。出来ない場合は最新の ADoB eReADer をダウンロードして下さい。(無料)

<http://www.ADoBe.Co.jp/proDuCts/ACroBA t/reADstep2.html>

【著作権について】

このレポートは著作権法で保護されている著作物です。

下記の点にご注意戴きご利用下さい。

このレポートの著作権は作成者に属します。

著作権者の許可なく、このレポートの全部又は一部をいかなる手段においても複製、転載、流用、転売等する事を禁じます。

このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。

このレポートは秘匿性が高いものである為、著作権者の許可なく、この商材の全部又は一部を如何なる手段においても複製、転載、流用、転売等する事を禁じます。

著作権等違反の行為を行なった時、その他不法行為に該当する行為を行なった時は、関係法規に基づき損害賠償請求を行なう等、民事・刑事を問わず法的手段による解決を行なう場合があります。

このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等です。著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行なう権利を有します。

このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等が有りましたが、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わない事をご了承願います。

このレポートを利用する事により生じた如何なる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わない事をご了承願います。

目次

※目次の見出しをクリックすると、その見出しのページに移動します。

■ 初心者がいつも聞く質問.....	7
■ 1・なぜ投資にはメンタルを鍛える必要があるんですか？.....	7
■ 2・初心者がはまりやすい、やってはいけないトレードとは？.....	11
■ 3・人の目を曇らせるもの、その全貌と対策.....	13
■ 4・自分のトレードにとって都合のよい分析をするのは危険信号です。.....	14
■ 5・必ず儲かる方法って実はあるんでしょう？.....	16
■ 6・投資に★絶対★を求める無知.....	17
■ 7・確実に資産を増やす方法を教えてください.....	19
■ ちょっとした疑問編.....	20
■ 8・【これとこれをやれば儲かる】という方法を探して.....	20
■ 9・簡単な方法＝楽な方法？.....	21
■ 10・FXにおいて、100点満点の70点は高得点？.....	22
■ 11・投資は個人プレー？.....	24
■ 12・結局投資は儲かればいいのか？.....	25
■ 13・「マインドはわかりましたから、どうすればいいですか？」.....	27
■ 14・「カモ」になりたくないのなら「私は投資初心者です」は止めましょう.....	29
■ 15・勝つ人がいれば、必ず負ける人がいる世界、ゼロサムゲーム.....	31
■ 良くある心理学的な用語の疑問.....	33
■ 16・強化の法則とは？.....	33

【ファーストステップFX】 PArt2 第3章 マインド

■ 17	・ゲーム理論（FXは라이어ゲーム??）	34
■ 18	・認知的不協和とはなんですか？	35
■ 19	・確証バイアスとはなんですか？	37
■ 20	・プロスペクトル理論に隠された真実	39
■	FXで勝つためには？	43
■ 21	・最高のトレードよりも大切なもの	43
■ 22	・どんなトレードがより良いトレードなのか？	44
■ 23	・相場で勝っている人は何を見ているのか？	46
■ 24	・投資を始める目的と投資の目的	47
■ 25	・投資家の敵の正体とその戦い方	48
■ 26	・シナリオ作りの大切さ	50
■ 27	・投資中級者が陥りやすい罠	51
■ 28	・投資初心者から中級者／上級者へステップアップしていくには	52
■ 29	・マインド強化方法（スーパーマリオ編）	53
■ 30	・マインド強化編（実践編）	54
■	FXで負けている人は？	55
■ 31	・負け続けることから抜け出す順番	55
■ 32	・大負けした人の言葉集	56
■ 33	・相場で死ぬ人の特徴	57

【ファーストステップFX】 PArt2 第3章 マインド

■ FXのテクニックについて.....	58
■ 3 4・お金をかけずにテクニックを磨く方法.....	58
■ 3 5・少しお金をかけてテクニックを磨く方法.....	59
■ FXの世界についての疑問.....	60
■ 3 6・高値・安値を付けている時の相場参加者の心情.....	60
■ 3 7・投資の世界で歴然とある【平等】.....	62
■ FXの取引における疑問.....	63
■ 3 8・チャートを見ているときに考えてはいけないこと.....	63
■ 3 9・システムトレードの良いところ／悪いところ.....	64
■ 4 0・冷静にトレード出来ないのはどんな時?.....	66
■ 4 1・システムトレードって何がいの?.....	67
■ 4 2・身近にあるシステムの例を教えてください.....	68
■ 4 3・ストップが切れない根本的な原因.....	69
■ 4 4・ストップを入れないトレードを実生活で言うと.....	70
■ 4 5・相場は上がるか下がるかの2択じゃない.....	71
■ 4 6・レバレッジって結局どういうこと?.....	72
■ 4 7・忙しくてチャートを見ている時間が無い人は.....	73
■ 4 8・経済指標の時はなぜ急激にレートが動くのですか?.....	74
■ 4 9・何故前回の経済指標より悪い結果なのにレートが動かないんですか?.....	75
■ 5 0・ビクマック指数って何ですか?.....	76

【ファーストステップFX】 PArt2 第3章 マインド

■ 結論 FXにおいてマインドとは？.....	77
■ 5 1・結局マインドって何ですか？.....	77

■ 初心者がいつも聞く質問

■ 1. なぜ投資にはメンタルを鍛える必要があるんですか？

スポーツでも武道でもあるように「心・技・体」というものが投資にもあります。

【心】・・・ メンタル・マインド

これは迷いなく分析をしたり、情報をどのように受け取るか等、心理的なものです。感情に流される事なく、知っている事を出来るようになるベースになるものです。

【技】・・・ テクニック

これはフィボナッチやトレンドライン等、相場を分析する為の技術です。簡単に言うと、儲ける方法ですね。

【体】・・・ 資金 (体力)

これは文字通り投資を行なう為の資金です。

FXをし続けられる環境や体力も入って来るかも知れません。

先ず誰もが注目するのは「技」です。

その後に「体」で、気付く人は「心」にも目を向けますが、実はこの三角形は一つの角が小さくなると全体もそれに合わせて小さくなって行きます。

例えば、どんなに技術を使いこなしていても、資金が少なければ大きな利益を上げるのは難しいと言えます。

どんなに資金があっても技術があっても、疲れていたり判断能力が鈍っている時に分析すれば十分にテクニカルを使いこなせないのと同じです。

すべてバランス良く大きくしていく事が可能です。

投資家の器を広げる場合、**一番広げやすい項目は【技】**です。

技は本を読んだり、セミナーを受けたりして自分に取り入れることによって広がっていきます。

最初の段階は、【心】も簡単だと思うかも知れません。【心】は、FX本に書いてあるようなマインドを参考にしながら、自分の考え方を整頓したり、人の考えを反発するのではなく受け入れ、そして応用していく柔軟さを身につけていきます。

そしてその両方を広げていくことによって体(資金)も自然に増えていきます。ただある程度FXで投資活動が長くなっていくと、資金の額が大きくなってきます。

すると、その資金【体】に見合うような、【心】と【技】が必要になってきます。

【技】は本や色々な人と知り合ったり、インターネットでも様々な情報がありますので、どんどん大きくすることは可能です。

【技】にあたる、知識、技術、儲かる方法というものは、誰もが興味を持っている事ですので、【技】も大きくしやすいと言えます。

【技】、【体】が大きい場合に、今まで問題なかった【心】のメンタル・マインドの部分が、大きく揺れ始めます。迷いが出てきます。感情をコントロールできなくなります。

実生活でも、財布に普段入っていない大きい金額が入っていることで、不安になったり、急に財布を落とす事を考えがちになってしまったりと、どうしても心が揺れる経験を誰もがした事があると思います。

最終的に投資では、FXでは、

この【心】との戦いだと思って間違いありません。

私たちは、この【心】に当たる、「マインド」の重要性を強く強調します。
最後、一番重要になって来るのは、このマインドなのです。

勝っているトレーダー、大きな金額を稼いだ事のあるトレーダー、大負けした
経験のあるトレーダー誰もが一番重要だというのが、この【心】に当たる、「マ
インド」です。

今はわからなくとも、いずれわかる時が来ます。頭の片隅にだけは、マインド・
メンタルが重要であることはとどめておいて下さい。

この教材の中では、あの手、この手と言わんばかりに、同じ事を色んな言い回
しで伝える事にしました。

またおなじこと言ってる・・・と軽んじる事なく、繰り返し読んで頂ければ
と考えております。

時間が経って、FXの経験が長くなってきた時に、再度読み直していただくと、
あっ、というような気付きが得られる事があると思います。

最後にダメ押しですが、

ウォーレン＝バフェットもこう言っています。

「投資に必要なのは、
3割の知識と7割の心理学」

だと・・・やっぱりマインドなんです。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 2. 初心者がはまりやすい、やってはいけないトレードとは？

あのブログでは「これから円安になるだろう」と言ってる・・・

あのアナリストは「これから円高になるだろう」と言ってる・・・

いったいどっちが正しいの？

というように投資を始めて最初にぶつかる壁は

「**信用できる情報の少なさ**」になってきます。

そんな時に「RSI と MACD が■■になったらエントリーすれば・・・」のような文章を見るとどうしてもそのやり方をやってみるけども利益が上がらない・・・

このやり方であっているのか？など、色々疑問がでるが、答えがわからずに投資を辞めていく事が一番つらいパターンです。

それをなくすためには、人の意見に惑わされないこと

それを回避するために手に入れたトレード手法をデモトレードを行って、エントリーや決済のパターンの確認と実際お金が増えるシステムなのかの2点を確認し、先ずは自分のものにすることが大事です。

これではわかりづらいかも知れませんね。

最初の段階は、あらゆる情報を客観的に見て下さい。どんどん必要な情報を詰め込んで行って下さい。自分のフィルターをかまさないで・・・こうだろう、とか、こうじゃなきゃとかいう考えを捨てて下さい。

色んな物が手に入ってきます。色んなトレードを知ることになります。それをどんどん試して行けばいいのです。

その中で、これはいけそうだなというものができてきます。

そういったもの、経験ですね。

そんな経験を増やしていくことで、人の意見に惑わされなくなります。

最初は、いろんなものに振り回されるかも知れませんが、
まずは多くのモノをとにかく吸収して見て下さい。

次の段階は、自分の経験によって、惑わされない自分が出来上がっていきます。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 3. 人の目を曇らせるもの、その全貌と対策

トレードをしていく中でなぜか相場分析にブレがでたり、連勝を重ねていくと突然連敗が続いたりすることがあります。

その分析を曇らせるものの正体は【欲望】と【希望】です。

残念ながら一人の意見というものは相場の中では殺されてしまうことが多いんです。それに打ち勝つためには周りがどのようなもので判断しているのかを**見る目**、トレードの内容、システムの内容等を**検証する力**、あとは**実行する勇氣**が必要になってきます

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 4. 自分のトレードにとって都合のよい分析をするのは危険信号

様々な投資家と交流しているとたまに見かけるのが「自分のトレードに都合良く相場を見てしまう人」がいます。

その人の分析を聞くとわかるのですが急に脈絡のないテクニカルが出て来たりします。自分がエントリーしやすいように、都合良く相場を分析して、自己流で判断してしまうケースですね。

さらには、自分が持っているポジションに都合よく、有利に現在の相場を分析してしまったりするケースです。

例えばトレンド判断をダウ理論でしているのにエントリーをする直前の分析ではエリオットが出てきたり、MACD とローソク足のダイバージェンスが・・・というように、今まで気にもかけなかった項目が突然重要項目のように出て来ます。

推理小説で言うと、殺人が起きいろんな登場人物に会い推理を積み上げていって最後に犯人を推理しようとしている時になって今まで出てきていない人が出てきて、突然自首して来る感じに似ています。

また、自信が無いのかどうか解りませんが分析について質問すると、コロコロ考えが変わる人もその傾向が強いです

「その位置のストップは危険だと思うのですが」と質問すると
「だったらこっちの位置にします」と答えたり、

「まだトレンドは発生していないと思うのですが」と質問すると
「そうですね。もうちょっと待ってみます」と言ったりします。

これは、自分自身で根拠のないトレードをしている事に問題がある
だから、指摘をされた時にその話を鵜呑みにしてしまう事になります。

何故そう思ったか、という理由があって意見や分析があるはずなのに、自分で
やっている事に、自信がなかったり、根拠がなかったりするために、【どこが先
ずかったのか？】という視点がすっぽり抜けてしまっています。

これでは勝っても、負けても意味がありません。

いつまでもフラフラしたトレードをつづけ、たまたま勝ったりする事はあるか
も知りませんが、いつかは資産がなくなるのは目に見えています。

この症状はとても危険です。出来るだけ早くこの状況を抜け出して下さい。
先ほどの例で言うと、「その位置のストップは危険だと思うのですが・・・」と
聞かれた場合には、「確かにその位置は危険だと思います。

より強い壁がもう少し外側にありますが、私はリスクを取ってこちらにしてい
ます」

もしくは自分のやっている事に自信を持って、「なぜこの位置が危険だと判断さ
れたんですか？」と聞けるぐらいの核心を持って、トレードできる方が、今後
の分析の幅が広がっていきます。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 5. 必ず儲かる方法って実はあるんでしょ？

誰もが知りたい情報ですよ。もちろんあります。
この方法なら必ず利益がでます。

その方法とは・・・

「エントリーしたレートより利益側で決済する」 ことです。

利益を出している時は皆さんこのトレードをしています。

逆に損を必ず損を出すトレードの方法は

「エントリーしたレートより損益側で決済する」 ことです。

その言葉の意味自体は難しくないですが、実際トレードしている時に上記の文章の事を考えられているでしょうか？

「安く買って高く売る」 と儲かるというのはよく見かける文章ですが、実は高く買ってもいいんです。 それより高い場所で決済すれば、利益になるんですから・・・。

必要なのは、「今より利益側にレートが動く可能性」を追求することです。

[▲目次へ戻る▲](#)

6. 投資に★絶対★を求める無知

「投資に絶対は無い」という言葉がありますが、
みなさん絶対儲かる方法を探してしまうんですね～

これは何も投資に限った話ではないんです。

「明日絶対晴れますか？」と聞かれると大抵は「たぶん晴れるんじゃない？」とか「たぶん曇るよ」と答えると思います。

同じように「あのケーキ屋さん絶対美味しい？」と聞かれても同じなんですけど、突然投資になると「これをやると絶対儲かりますか？」と目を輝かせて質問して来る人が多くいます。

投資の【絶対】を探す前に、日常生活に、いかに【絶対】が無いかということも考えてみてください。

投資の世界は特殊でも何でもありません。

ただ、サッカーだと、キーパー以外は手を使ってはいけない、野球ではバッターが球を打つと一塁に走らなければいけない・・・などというようなルールがあるだけです。

さらに言いましょう。

毎月利益を上げている投資家の投資方法があるとします。その投資家から絶対儲かる方法を教えてもらったとします。ただあなたが絶対稼げる保証はありません。

その稼げている投資家にとっては、絶対もうかる方法なのかも知れませんが、あなたにとって絶対勝てる方法とは言えないのです。どうしても裁量でやっている限り、稼げている投資家が教えられない部分が出てきます。

いわゆる【相場観】みたいなものが出来上がっていきたりします。

手法としてはとても簡単だったとしても、こういう場合は、エントリーするけど、この場合はエントリーしない同じく、こういう場合は、決済するけど、この場合は決済しない

稼いでいるトレーダーには、経験からそういったものが身についたりします。そういったものは、自分で身につける必要があるのですね。

勝っているトレーダーはこう言います。

「勝てる方法を教えてもいいですけど、その方法ではあなたが勝つことはできませんよ」って言います。

ですから、「絶対儲かる方法」を探す前に、自分の経験を通して先ず「**負けない方法**」を探して行って下さい。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 7. 確実に資産を増やす方法を教えてください

これも上の質問と同じことが言えますね。
確実に資産を増やす方法はあります。

その方法は【銀行にお金を預ける】ことです。

銀行がつぶれない限りお金を増やすことが出来ます。

※その分利息は少ないです

絶対とは言えませんが、確率的な事を言えば、かなりの高い確率でお金が増えます。ただリスクを取っていないので、その分増える資産も少ないですが・・・。

銀行にお金を預ける事も立派な投資です。

資金効率の観点から言うと大きいリターンを求めて、株式やFX等の市場に参加している方がほとんどだと思います。

大きいリターンを望むならそれだけのリスクが必要になります。

リスクが高い事を十分理解して、FXに真剣に取り組んで下さい。
甘えていると足元をすくわれることになります。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ちょっとした疑問編

■ 8. 【これとこれをやれば儲かる】 という方法を探して

「言われたとおりにやるので、必ず儲かる方法ってないですか？」
と先日聞かれたので、その方法を教えました。

その方法とは【アルバイト】です。
アルバイトをしていれば、言われたことをやっていたらお金を貰えます。

ただ、FXをする投資家がすることは、アルバイトのような作業員ではなく、
オーナーや社長のように、

- ・ どこにどのようなお店を立てようか？
- ・ その従業員は何名必要か。
- ・ 何階建てのお店にしようか？
- ・ どのぐらいの損失でそのお店をたたんだ方がいいのか？

などを考える作業です

投資活動をしている間は、サラリーマンのように目標が与えられてそれを達成
するというものではなく自ら目標を立て、道をそれているかどうかを自分で判
断し修正していく・・・実業家の考え方になる必要があります

自ら考え、判断する事を求められるのが、投資家だという事を先ず肝に銘ずる
必要があります。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 9. 簡単な方法＝楽な方法？

自動売買や“サインに従ってエントリー&決済すればOK”等、
『簡単に投資が出来る』という方法があります。

それが悪いと言っているわけではありませんが、手順が簡単な方法であっても、
実際儲けなければやり続ける事は難しくなります。

手順は簡単だが、資金が減っていくようならやり続ける意味もなくなり、しかも
見ていられなくなります。(作業が苦痛になる)

大事なのは、

「その行動はお金をかけるべき価値のあることなのか？」

ということです。

投資の作業というのに絶対はありませんのでいくらチャンスでもエントリーした
後に、利益側になるかどうかわかりません。それでもお金をかけるというのが
投資家の行動になります。

もう一度言います。

「その行動はあなたの時間とお金をかけるべき価値のあるものですか？」

これを確認して下さい。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 10. FXにおいて、100点満点の70点は高得点？

ここで問題です。

あなたの友達（子供でもいいです）が、100点満点のテストで70点の成績を取りました。これを【投資としてとらえた場合】あなたはどのように評価しますか？（どのように声をかけますか？）

A：「70点も取ったの？すごいね。」

B：「もうちょっと頑張ったら100点だったね。おしかった。」

C：「私は60点だったよ。なかなかやるね。」

さて、上記3パターンのうちどれでしょうか？

投資としてでなければ、どのような答えでも今回は特に問題にはしませんが、こと投資としてとらえた場合、【取れなかった30点】に注目する必要があります。

国語のテストであれば、漢字を間違えたのか？古文を間違えたのか？文章の読み取りを間違えたのか？によって自分の弱点を知り、次回への対策を練ることが出来ます。

投資も同じで、例えば去年の収支が プラスは100万円でマイナスが30万円の合計で+70万円だったという場合と同じように考える事が出来ます。

さらに深く、

- ・ 30万円負けた時はどのように相場を見ていたのか？
- ・ トレンドを見ずにエントリーしていた…のか？
- ・ ストップを上げるタイミングが悪かった…のか？
- ・ 人の意見を鵜呑みにしてエントリーしていた…のか？

など、自分の次から何に気をつければいいのか？が見えてきます。

そしてマイナスの30万が20万になると、翌年のプラスが100万円と同じになっても、合計収支は80万円に増えます。投資は勝ちにいくよりも負ける項目を減らすことによって、資金を増やすことが可能です。

つまり、勝ちを増やす事と、負け減らすことはどちらも資金を増やせるということです。それを同時に進めることで資金の増加率を加速度的に増やすことが可能です。

どうしても勝ったトレードに目が行きがちですが、負けたトレードに注目して、なぜ負けたのかを自己分析して下さい。

それが投資を長く続けていく秘訣であり、負けないトレーダーになる秘訣、さらには、勝てるトレーダーになる秘訣になっていきます。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 1 1. 投資は個人プレー？

投資を始める時、個人投資家の場合は「これをやり続ければ儲かるかも」と一人で判断し一人で勉強し、一人で証券会社に口座の開設をして入金し、エントリーをしている事が多いので投資活動を行うに当たって他人の存在はそこまで大きなものではないかも知れません。

ただし、FXでポジションを持つ時、エントリーをする時は、いきなり何億人というプレーヤーの中に飛び込んでお金の綱引きをすることになります。

投資は個人プレーなんてとんでもない話なのです。

自分が綱を引いている時に、いかに仲間が増えていくかを「先読み」し、いち早く参加し仲間が減っていく事を「先読み」して先に退散することが利益を生みます。

つまり、

これからこの【集団】はどっちの方向にエントリーするのだろうか？
これからこの【集団】はどっちの方向に向かおうとしているのだろうか？

というところに意識を集中する必要があります。

投資は孤独な個人プレーではありますが、集団の向かおうとしているポイントを意識しながら、相場の荒波を渡っていきましょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 1 2. 結局投資は儲かればいいのか？

はい、そのとおりです。

投資をするうえで、**何よりもはっきりしている目的は、「儲ける事」**です。
その方法はたくさんありますが、結局は儲かればそれでよしです。

ただ一時的なモノでなく、あなたが目標としている金額を稼げるまで儲かればそれでいいのです。違いますか？

あなたが投資を始めようと思ったきっかけは、

- ・何かしたい事があってお金を必要としていた。
- ・欲しいものがあった。
- ・子供を学校に行かせるのにお金が必要であった。

その理由は何でもいいのです。ただ一つ稼げる事さえできれば・・・。

法に触れるようなことをしないというのは当たり前の前提として話しますが、結局儲かるのであれば、どんなに難しい手順でも、簡単な手順でもぶっちゃけなんでもいいんです。なんでもありなのです。

ダイエットだったら、ダイエットの目的は痩せる事なので、

- ・どんなにモニターの人が痩せた
- ・この成分が脂肪を分解すると学会で報告があった
- ・たくさんの有名人が使っている

など、たくさん条件がそろっていても自分の体重が減らなければ、ダイエットは失敗です。

あなたはお金を儲けるために投資、今回はFXを始めているので、もし儲かるのであれば、それは投資を行う価値のあるべき行為です。

そこに「手順が簡単・一日5分見るだけで・・・」というよりも「どのぐらい儲かる／損益が出る」という事が投資家にとっては死活問題だと考えます。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 13. 「マインドはわかりましたから、どうすればいいですか？」

講習会や色々な人とマインドの話をしていると「マインドはわかりましたから、どのようなタイミングでエントリーしてるんですか？」と聞かれることがあります。

その時僕は「あぁ、この人はまだわかってないのかな？」と思っています。

ここであえて質問したりするのですが「ではマインドの何がわかったのですか？」と聞くと、答えが返ってきません。

返ってきたとしても、どこか心ここにあらずというような回答が多いです。どうしても多くの方は、稼げる方法を知れば、勝てるようになる・・・。

そんな誤解をしているのです。

前にもお話ししましたが、毎月利益を上げている投資家の、絶対儲かる方法を教えてもらったとします。ただあなたが絶対稼げるとは言えないのです。

どうしても裁量でやっている限り、稼げている投資家が教えられない部分があったりします。

いわゆる【相場観】みたいなものが出来上がってたりします。

稼いでいるトレーダーには、トレードしてきた中での経験で、「こういった場合は、失敗する」「こういった場合は、成功する」といった相場観から来るものがあるのです。

そういったものは、自分で身につける必要があるのですね。

そういったものを身につけてもらうために、PArt1でお話したように、システムを調べ、検証する事が重要だと言っているのです。

システムを調べ、検証する事、これは大変な事で、手間と時間がかかります。実際にやってみればわかるのですが、やらない人たちが多くいます。

これもマインドなんです。

どうしても多くの方は、**※聖杯探し**をしてしまうのです。

※簡単に、誰でも、絶対に稼げる方法のようなもの

手っ取り早く、稼げる方法を教えたとしても、自分の都合のいいように相場を解釈し、稼げないのが現状です。トレード方法を教えたとしても、実際にエントリータイミングが来ても気付かなかったりします。

それは、トレード方法を知っていたとしても、出来ないのです。知ることと、できることは異なります。

重要なのは、「実際に聞いたそのトレードが、実践で出来るかどうか？」
そうでないと有効に活用できないどころか、損ばかり増えていきます。

実行力を身につけて欲しい・・・聞いて知ったそのトレードを本当にできるようになって欲しい・・・。そういった思いがあるので、マインドを繰り返しお伝えしています。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 14. 「カモ」られたくないなら「私は投資初心者」は止めよう

「私は投資初心者です」というメリットは何もありません。言うだけ無駄です。

あなたのポジションがマイナスになっていたとして、「初心者だからそれは無し」にしてくれますか？買いと売りのエントリーを間違えたとして、「初心者だから間違えたエントリーは無し」にしてくれますか？

相場の世界ではみんな死ぬ気でお金を取りあっているんです。

そんな中「初心者です」って言っても誰も何もしてくれません。

何のメリットもありません。

同じように「僕は相当の経験者です」というのも相場の世界では、何のメリットもありません。相場の世界は良くも悪くも【平等】なのです。

「まだ初めて2カ月ですが、今までこういったものを身につけてきました。今後は何をどうやって学んでいけばいいですか？」

こういった質問であれば、大歓迎です。

さらに、1ヶ月後、前に出された課題をこなしてきて、

「私は●●が理解できて、トレードでも生かせるようになってきました。でもまだ相場の分析がどうしても苦手です。どうしたらいいのでしょうか？」

こういった成長を見せて頂ける人は、さらに大歓迎です。初心者が甘えられる世界でないのが投資の世界です。

初心者モードはありません。あるとしたら、デモ取引だけです。

お金を実際に投資し始めたら、あなたは大手バンカー、ヘッジファンドマネージャー、有名トレーダーと同じ土俵に立たなくてはなりません・・・。

そんな相場に参加する人達は、圧倒的な資金量、圧倒的に高い技術・知識、圧倒的な経験、を持った人たちです。

そこにはプロフェッショナルしかいない世界です。
初心者だから・・・は通用しません。

「初心者だから・・・」の心構えは、今すぐ捨てて、覚悟して相場に参加して下さい。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 15. 勝つ人がいれば必ず負ける人がいる世界「ゼロサムゲーム」

「為替はゼロサムゲーム」とよく言われます。

zero-sum 英語でこう書きます。

どういう事でしょうか？「**全ての総和がゼロになる**」という意味です。

それは、複数の人が参加する相互に影響しあう状況の中で、全員の利得の総和が常にゼロになることです。負けた人、勝った人をすべて足すとゼロになるという話です。

まあFXでもブローカーに払う手数料がありますから、それを差し引いた残りを、みんなで取り合っているんですね。

簡単に言うと、

**勝つ人がいれば、必ず負ける人がいる世界です。
全ての人が勝つことはない…。**

実際のFXの世界では、全世界から多くの人に参加しています。

億単位でお金を投入している個人投資家、ヘッジファンドのような何千億を動かすような企業体、おこづかい20万円を取引しているようなサラリーマン、色んな立場の人が国境を越えて、FXという世界で取引をするのです。

プロだろうが、素人だろうが、初心者だろうが関係ありません。
全ての人の投入したお金を、そんなみんなで分け合うのです。

取りあいですね。

そして、勝つ人がいれば、必ず負ける人がいる。

勝った人は負けた人からお金を巻き上げている…。
負けた人は勝った人にお金を提供しているようなものです…。

誰かが勝てば、誰かが負ける…。
これがゼロサムゲームです。

[▲目次へ戻る▲](#)

■良くある心理学的な用語の疑問

■ 16. 強化の法則とは？

【同じことやり続けるとドンドンその形が強化されてく】という法則です。

例えば毎朝人に会えば「おはよう」と繰り返していくと、何も考えなくても朝人に会えば「おはよう」と頭で考えなくても声のでるのも同じです。

投資で例をあげると、

トレードをする → 負ける（資金が減る） → 悔しい（つらい）

ということを繰り返していくと、何も考えなくても

トレードをする → 負ける（資金が減る） → 悔しい（つらい）

となり、**負けるところでエントリーをしようとする形が強化されていきます。**

逆に、

エントリーをする → 勝つ（資金が増える） → うれしい

を繰り返していくと何も考えなくても、

エントリーをする → 勝つ（資金が増える） → うれしい

というところで**利益を上げる場所でのエントリー**をする形が強化されていきます。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 17. ゲーム理論 (FXは라이어ゲーム??)

一人パソコンに向かってFXをしていると、忘れてしまいそうになるのは【**今見ているチャートは全世界で何億人も同じものを見ている**】ということです。

『*LIAR GAME*』(라이어ゲーム) というマンガがあり、ドラマにもなりましたが、これは騙しあいのゲームの話です。

相手の裏を読み、いかに自分に有利に進めていくのかがとても面白かったのですが、投資もこれと同じなのです。

自分以外の集団をいかに出し抜くか? というところが重要になってきます。

それが自分が利益を上げる方法だからです。

ある時は、「その他大勢と同じような動き」を見て協力をする…。
流れが悪くなればいつの間にかポジションを決済する…。
場合によっては、逆のポジションを持って、利益を上げる…。

自分にいかに利益を吸い寄せて来るかが、生き残るために必要な知恵となります。라이어ゲームのように、参加者で騙しあいをするようなものなのかも知れません。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 18. 「認知的不協和」とはなんですか？

認知的不協和とは、

「人が自身の中で矛盾する認知を同時に抱えた状態、
もしくは、それに耐えられないために自身の態度や行動を変更すること」

を言います。

投資での例では「今回は損を出したけども、いい勉強になった」がいい例です。

投資を始める前の理想は、

「投資をする」 → 「利益を出す」 → 「お金を増やす」 → 「目的達成」

というのが大まかな流れとしてある場合、実際に起こったことは、

「投資をした」 → 「損益を出した」 → 「お金が減る」 → 「目的が遠のく」

と理想と違うものとなり、その事実には耐えられなくなり、

「投資をした」 → 「損益を出した」 → 「お金が減る」 → 「目的が遠のく」 → が、
今回の一軒により反省し、次回より利益を上げるかも知れないという一文を追加してしまうことによって精神的な不安を解消する行為です。

この行為は、「一見すると失敗を反省して次回に生かす」という前向きな行為に見えますが、反省することが目的では無く、ただ、損をした事実を覆い隠しているため同じことを繰り返してしまい何度も繰り返すと（強化の法則により）損を出すスパイラルから抜け出しにくくなってしまいます。

その連鎖から抜け出すためには何が悪かったのか？次回からは何に気をつければいいのだろうか？というものを間違ってもよいのであげることである。

それが間違っていればまた考えなおせばよいが、何も無い場合は改善のしようがなくなるからである

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 19. 確証バイアスとはなんですか？

個人の先入観に基づいて他者を観察し、自分に都合のいい情報だけを集めて、それにより自己の先入観を補強するという現象である。

投資での例をあげるとチャートを見ていて、買いでポジションを持ちたい場合がありますか？

どうしても心のどこかで、「アップトレンド」と判断したいため「アップトレンド」の判断材料を自分の中で集め出してしまいうんです。

無理やりダウ理論を当てはめて、アップトレンドだと判断したり…無理やりエリオットの第〇波だ！だと判断したり」**目的が【分析】から【自分の考えを後押しするもの】へとシフト**しています。

その時に、「アップトレンドでないかもしれない」材料を打ち消し始めるんですね。

人は、この確証バイアスというものがあるために、一度「こうだ」と信じはじめ、その一度信じたことを補強するような情報ばかりを集めてしまいます。

さらには、その反証や判例となることを無視してしまう傾向があるということです。

そうやって来ると、投資の世界では、相場分析ではなく、単なる思い込みになってしまい、チャート分析とは言えない、ただの自分の思い込みトレードになり、無駄なエントリーを繰り返してしまいます。

これで負けていれば、まだマシです。

さらに最悪なケースの場合は…、
たまたまでも勝ってしまった場合です。

この時はどうしようもありません。

自分の思い込みが強化されてしまうわけですから、間違った方法が正しい、儲かる方法とインプットされてしまいます。

その思い込み、強化が強かった場合、この運命は、最終的に、資産が吹き飛ぶ所まで行ってしまおうでしょう・・・。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 20. プロスペクトル理論に隠された真実

投資の本やブログでたまに見かける【プロスペクトル理論】というものがあり、それを抜粋すると以下ようになります。

=====

- A・必ず80万円貰える。
- B・85%の確率で100万円貰えて、15%の確率で何も貰えない。

- C・必ず80万円支払う。
- D・85%の確率で100万円支払い、15%の確率で支払わなくてよい。

=====

という選択肢があり、(A・B) から1つ、その後 (C・D) から必ず一つずつ選択しなくてはならない場合、

投資としてとらえた場合どの選択肢が良いでしょうか？

というものです。

ここでは問題を考える事が重要ではないので結論に至る考え方を言うとそれぞれ100回繰り返した場合、

A. 必ず80万円貰える。

$$80万 \times 100 (回) = 8000万円$$

B. 85%の確率で100万円、15%の確率で0円。

$$(100万 \times 85 (回)) + (0万 \times 15 (回)) = 8500万円$$

C. 必ず80万円を払う。

$$-80万 \times 100 \text{ (回)} = -8000万$$

D. 85%での確率で100万円払う、15%の確率で払わない。

$$(-100万 \times 85 \text{ (回)}) + (0万 \times 15 \text{ (回)}) = -8500万$$

と、理論上では「B・C」と選択すれば(8500万円-8000万)500万の利益がでるので投資としてはB・Cと選択するのが良い。

投資として考えるとその逆(A・D)の場合では(8000万円-8500万円)500万円の損が出てしまうので行うべきでは無い。というのがこの考え方です。

ここではさらにその先の話をしていきましょう。

では実際、同じ場面に出くわした場合にあなたは、B・Cと100回選択することにしましょう。

第1回目：

Bを選択：0万円、Cを選択：-80万円 /資金 -80万円

第2回目：

Bを選択：0万円、Cを選択：-80万円 /資金 -160万円

第3回目：

Bを選択：100万円、Cを選択：-80万円 /資金 -140万円

第4回目：

Bを選択：100万円、Cを選択：-80万円 /資金 -120万円

実際お金がもらえない確率が15%あるので2～3連敗等は起こるべくして起きますが、実際起きた場合（今回は2連敗ですが）次の選択をBにできるでしょうか？

「ここは確実に80万円もらっておきたい、どっちにしても次に必ずお金払わなきゃいけないんだから…だからAだ！」という心理が働きます。

また、支払いについても「必ず毎回支払うのはきついなあ、最初の選択でも貰えない事もあったからここはDを選択しておくのが賢明だ」と理論上でも一番良くない（A・D）の選択をしてしまいます。

先ほどAとDは理論上選んではいけない組み合わせであったにも関わらずに、です。この心理状態が悪いというわけではなく、人間であればだれもが行ってしまう行動です。

このような現象を【プロスペクトル理論】といいます。

論理的には、間違っているとしても、人間は感情により、損するように行動してしまうことを先ず知っておいて下さい。

投資家としては、この行動が一番厄介なのです。

これをどう防ぐかを考えなくては、いや、考えなくてもできるようにしなくてはなりません。

今回のケースの場合、この行動をどのようにすればB・Cと選択するようになればよいのでしょうか？

AとDの選択肢を選べないようにすればいいんです。

投資で言うところの「システムトレード」をすれば、エントリーする直前で「どっちにしようかな？」なんて迷うことはありません。

チャートを見る前から、●●になったらエントリーする。

ストップは▽▽で、ポジションのサイズは※※で計算して
と後はそれぞれのピースをはめていくだけで自分の行動が決まっていきます。

論理的に行動するように、
機械的にトレード出来るように、
感情にコントロールされないように、
理論的に儲かると検証された方法を

ただ淡々とこなして行くのがトレーダーなのです。

その行動が理論上あっているか？ということ、投資家は日夜研究しているんですね。

これができれば、【プロスペクト理論】も怖くありません。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ FXで勝つためには？

■ 2 1. 最高のトレードよりも大切なもの

最高のトレードは、1回のトレードで多く稼ぐ事ではありません。

先ず自分で決めたいつもこういったトレードをするというルールを立てるのですが、チャートを見て、そのチャンスが来た時に、自分でこうなるだろうという予想（シナリオ）を立て、その通りにルールを守りトレードをする事です。

目指すべきは、最高の1回のトレードよりも、ルールをしっかり守れる事の方がはるかに重要です。どれぐらい大きい利益が取れたかは大切ではありません。そのトレードがどれだけ利益を伸ばすかはおまけです。

それよりも、しっかり自分の決めたルールにのっとって、淡々とトレードする事の方が大事です。

さらには、勝っているトレードよりも、負けた時のトレードに注目して下さい。100%勝てるトレード手法はありませんので、負ける事はあります。

負けた理由がしっかりしていれば、負けは負けで受け入れる事が必要です。

70%の勝率のトレードでは、必ず10回に3回は負けるのですから・・・
もっと負けることもあると思います。連続して負けることもあると思います。

それでも納得ができれば、その負けも問題ありません。
勝っているトレードよりも、負けたトレードに注目して下さい。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 22. どんなトレードがより良いトレードなのか？

どんなトレードをすればいいのでしょうか？

多くの人は、勝率を追い求めます。

勝率は確かに重要ですね。あまり負けが多いとトレードする気が起きませんよね。さらには、勝率が低くて負けが続くと、負けるのが怖くてトレードできなくなってしまうます。

ただ勝率90%等のシステムを見つけたとして、それだけでいいのでしょうか？重要な事を見落としています。

**そのシステムを判断するときに必要なことは、
【勝率よりも利益率】です。**

勝率が95%あったとしても、一度の損失で全てを失うリスクがあるとしたら、これは優れているシステムとは言えません。

逆に、30%や50%の勝率しかなくとも、一度に稼げる利益が損失分より多ければ、それはそれで優れたシステムだと言えます。

そのため月に何%の利益を出しているというのが一つの目安になります。

勝率より、利益率を注意してみてください。

しかし、それ以上に必要なことはそのシステムがいかに安全なトレードを行う為と考えられているか？を見る必要があります。

勝率が100%未満であればそのシステムで必ず損益が出る時が来ます。
負け方も重要なのです。

いかにうまく負けるか・・・。
ストップを入れないというのは話になりません。

負けたり勝ったりを繰り返して資産を増やして行くのがFXだけでなく、全ての投資において言える事です。自分の資産を守りながら攻めて下さい。

投資は続けることに意味があります。

**投資は続けていくから資金が増えていきます。
続けることが出来ないシステムでは、資金が増えません。**

システムを考えたり、実行するときには、【いかに安全なトレードになっているか？】をよく考える必要があります。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 23. 相場で勝っている人は何を見ているのか？

相場で利益を出している人は、誰にも思いつかないようなテクニック、ノウハウを持っているわけではありません。

稼げていない人との違いは、相場やテクニカルを使用するときに **【先入観を入れずに、事実をありのままに見ています】**

そこには自分の考えはなく、相場がどのように動こうとしていくのか？を注意深くみています。

そこには、

「これだけ下がったからそろそろ底だろう」

「もうすぐ上がるにちがいない」

「あの有名なアナリストが上がるって言ってたから上がるに違いない」

などという思い込みでトレードはしていません。

答えは、今あなたが見ているチャートにしかありません。

そのチャートから、今後どうなっていくのかを読み取って下さい。

重要なのは、

**自分のトレードを相場に合わせるのではなく、
相場に自分のトレードをあわせることです。**

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 2 4. 投資を始める目的と投資の目的

繰り返しのようになってしまいますが、何度でも伝える必要がある事なのでもう一度お伝えします。

投資を始める時の目的は人それぞれあり、その内容はどのようなものでも問題ありません。プロでもアマでも関係なく、共通する目的があります。

**投資を行う上で絶対に必要なこと、目標とする事は
お金をいかに増やすかです。**

トレードの回数を増やすことや一日中チャートに張り付く事、セミナーに多く参加すること、色々な勝っている人のブログを見る事、これだけでは、利益が上がるわけではないことを十分に考えてください

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 25. 投資家の敵の正体とその戦い方

これから投資を始めるに当たり、投資で利益を出し続けるために、
先ず意識する必要のある事は・・・**自分の分析やシステムが、納得できている
のかどうか？**

これが、とても重要なカギになってきます。

自分が採用しているシステムですごいチャンスが訪れたとしても、そのシステム自体に不満があったり、まだよく理解できていない点があったり、とまだ自信のない中で進めていくと、どうなるでしょう・・・？

自分のシステムに納得できていない人は、多くの利益が出ている時は良いですが、損が出始めた途端に不安にかられます。

【このまま続けていくか、止めるか】を迷ってしまうのです。

どんどん自分のシステムが信じられなくなります。

利益を出すシステムだとしても、使い方を間違えて実行するのも自分…。
利益どころか、損益ばかりをだすものを実行しているのも自分…なのです。

・・・そうです。敵は自分なんです。

投資家にとって、分析やシステムは相場という戦場で一緒に戦ってくれる戦友です。

なのに、その戦友についてあまり理解していなければ、上手に使いこなせないばかりか、自分の足を引っ張ってしまうことにもなります。

まずは戦友の【得意な戦場】、【苦手な戦場】を理解し、自分がしっかり納得できて、自信をつけた上で分析やシステムと上手に付き合っていくことが大事です。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 26. シナリオ作りの大切さ

相場でシナリオを作るということは、監督が台本を作る作業と同じようなものです。

「はいっ。ここで観客を感動させて」

という漠然とした指示を出したとしても、演じる人のレベルが高くないと実現は難しいですが、

「ここで〇〇さんに告白。そして返事は・・・」

というように、具体的な行動の手順を決めていれば、役者も行動が簡単に出来ます。

ここで重要になって来るのは【**行動が簡単にできる事**】という項目です

シナリオを作ると何が得になるかと言うとこうなった時に、次はこうして、その次はこうする・・・という流れがあるということです。

言い換えると、「こうなったけど・・・次は・・・あれ？どうしよう？」ということにならないようにシナリオを作っているともいえます。

投資家にとって時間というものは非常に重要です。

行動を起こそうとする時には迷っている時間はありません。シナリオを作ることによって次、次と**次の手が早く出ます**。投資は急ぐ必要はありませんが、チャンスをみすみす逃すほどもったいないことはありません

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 27. 投資中級者が陥りやすい罠

勝つていようが負けていようが、投資を続けていく中で注意すべきは
“**やっていく中で目的と手段が変わらないこと**” です。

具体的どのようなことかと言うと、トレード回数が増えていくと元々お金を増やすために投資（トレード）をしているのにトレードすること自体が目的に変わっていつてしまうことがあります。

※チャートを見た時がチャンスだと思ってしまうような時です。

その時は資金が増えるチャンスだからエントリーするのではなく
“(自分が) エントリーしたいから” エントリーを狙っています。
その場合はまるで誰かが見ているように逆・逆にレートが行ってしまいます。

目的はあくまで「資金を増やすこと」それに集中しましょう。投資家が投資をするのはあくまで「資金を増やすため。」それを忘れないようにしましょう。

やりたいことをやるのは投資が終わってからです。投資を行っている間は夢を実現するための資金を稼ぎましょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 28. 初心者から中級者／上級者へステップアップしていくには

一般的な企業であれば「3年も働けば新人は卒業」と言われます。

FXにおいても大体「3年も続けられているようであれば」初心者は卒業と言えます。

なぜかという、ひとえに「3年も退場せずにごろごろしている人は
リスクのコントロールの仕方が解っているから」です。

大体年に1度は大きな急落（もしくは急上昇）があり、その時に
資金の大半をなくすようなトレードをしている人は1年も耐えられません

何年たっても「私は初心者だから・・・」という人もいますが、
投資の年数以外で初心者／中級者の分け方として、

初心者・・・受け取るだけ

中・上級者・・・自分から意見が表現できる／作りだせる

と分ける事が出来ます。

初心者は自分で判断できる材料が少ないので、受け取る（本を読む／セミナー
を聞く）等受け身の態勢でテクニックを入手していきます。

中級者以上になると、受け取ったテクニックや考え方を自分なりに解釈して、
元々知っているトレード方法やシステムに組み込んでいきます。

逆を言うと、何年たっても人の意見を鵜呑みにしている人は、初心者同然とも
言えます。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 29. マインド強化方法（スーパーマリオ編）

マインドを鍛える一つの考え方にテレビゲームの「スーパーマリオ」があります。

あのゲームは色んな敵キャラがいて、それを飛び越えたりやっつけたりして先に進んでいくものですが操作を誤って穴に落ちてやられてしまった時に「あぁ！俺はなんでダメなやつなんだ。

もうスーパーマリオなんて続けていく資格がないんだ・・・」と、そこまで落ち込まないですよ？次はそこを超えていけば、いいだけですから。

投資も同じで、分析を見誤って間違えた場所でエントリーや決済を行って損益を出すことがあったとしても**次に同じ間違いをしないよう**にすればいいだけです。

そのために必要なのは「**一回のミスで次回投資が出来ないような損益を出さないこと**」つまりリスクコントロールを考える必要があります。

一度のミスが命取りになるようなトレードはやめましょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 30. マインド強化編（実践編）

マインドを強化するということは、「何が起こっても鉄の意志で実行する」というものでもないんです。

“待つも相場”という言葉もあるように「ここは怖いな。でもマインドを鍛えたからここはエントリーしよう」というのは心を強くしているのではなく、心を鈍くしているだけです。

怖いと思うならやらなければいいんです。
もしくは怖くなくなるまで待てばいいんです。

無理に実行することが勇敢な投資家の行動ではありません。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ FXで負けている人は？

■ 3 1. 負け続けることから抜け出す順番

この場所を見ている人で、今トレードで「勝って勝って仕方ない」という方は、ここから先を読まなくて大丈夫です。

さて、ここから先を読み進めているということは、あなたはいま【負けている】もしくは【大負けしている】のではないのでしょうか？

今【負けている状態】からいきなり【勝つ状態】になるのはほぼ不可能です。

まずは、「負けている」→「負けなくなる」→「ちょっと勝ち始める」→「勝っていく」という順番が一番の近道です。

今あなたの状態がどこに当たるのか？次のステップになった状態がどうなっているのか？を目安に自分の目標を立ててください。

例えば、今負けている人の目標は【負けなくなる】というところなので、今負けている原因を探り、負けなくなるにはどうすればいいのか？これを考える事が近道です。

勝ちを狙いに行くとどうしてもトレード回数が増えてしまいます。実はそうすると全体的なトレード回数が増えてしまい、結果的に負けの回数も増えてしまいます。

その場合は逆にトレード回数を減らし、良いタイミングにのみエントリーを狙ったほうがよい場合が多いです。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 3 2. 大負けした人の言葉集

ここでは投資資金をなくしてしまった人の言葉を載せます。
ご自身の参考にして下さい。

「レートが戻ると思った・・・」

「証券会社の言うとおりにしてた・・・」

「ストップというものを知らなかった。」

「前回もレートが戻ったから今回も大丈夫だと思った。」

「十万通貨って十万円分だと思ったら1000万円分だったとは・・・」

「よくわからないうちにお金が無くなった。」

「あのアナリストはまだまだドル円は下がるって言ってたのに・・・」

「いつも下がったら戻ってたのに。」

「ニュースが起きたら一瞬でお金が溶けた。」

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 3.3. 相場で死ぬ人の特徴

相場で死ぬというのは、文字通り命を失うというわけではなく、資金が底をついてしまう状態のことですが、それが起こしてしまった人のパターンは、

「いかに自分が危険なトレードをしているかが気付かない」

事が多いです

ストップを入れないというのも一つですが、ポジションを取りすぎていることも、その原因の一つです。病気になると体の調子が悪くなるという「サイン」がでますが、投資であれば資金が目減りしている（含み損も含む）場合は、それを見なければ体に不調はでません。

※見たからと言って風邪を引くわけではありません

ただ、**投資家にとって投資資金というのは、戦場で言えば武器の数**です。無くなってしまうと、相手がどんなに弱っていても戦うことができません。

為替の場面で言うと、どんなにサインが出ていようが、お金が無ければエントリーできません。ということは資金を増やすことができません。

チャートを見るのが趣味でなければお金が増えないのに分析をする意味はありません。投資家にとって投資資金とはそのぐらい大事なもののなんです。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ FXのテクニックについて

■ 34. お金をかけずにテクニックを磨く方法

投資関係の書籍はお手頃で入手できるような本や目の飛び出るように金額の本やセミナーがあります。

どのぐらいの効果があるか買って見ないと（参加してみないと）わからないものです。

とりあえずお金をかけずにテクニックを磨く方法として「デモトレード」を行う・・・という方法もあります。

デモトレードは、証券会社が行っているサービスでトレードを行うこと以外はすべて実際のチャートや値動きをしたもので行えるものです。

まったく言葉も知らないというものであれば本を読む必要がありますが、成行注文、指値注文、逆指値注文、OCO注文、イフダン注文等、実際使ってみた方が理解が深まっていきます。

「正確な知識」も必要ですが、「儲ける事が出来る知恵」の方が投資を続けていくうえで必要不可欠です。それを鍛えるにはどんな本にも載っていない「今の相場」がどのように動いているのか？ということの注意を払うことです。

それがデモトレードでは無料で利用することができます。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 35. 少しお金をかけてテクニックを磨く方法

多少のお金なら勉強のために出してもいいという人には、実際に証券会社に口座を開設して5万～10万円程度の比較的低額のお金を入れて、【どんなにチャンスでも最低取引通貨量でトレードする】方法があります。

使用している証券会社の最低取引量が1万通貨であれば1万通貨で、最低取引通貨量が1千通貨であれば1千通貨でのトレードを行います。

デモトレードではものすごい利益を上げたのに実際のお金でトレードすると勝てない、大負けするという方は多く、実際儲けるにはテクニック以外にもそれを行う胆力が必要になってきます。

実際テクニックを磨くにはデモトレードは非常に有効な方法ですが、胆力を鍛えるにはデモトレードでは鍛えられません。

デモトレードでは、テクニックのみが必要ですが、実際のお金を使うトレードでは、「テクニック」＋「胆力」が必要になってきます。

ドル円であれば1万通貨で 1.00 マイナス方向に動いても1万円の損失です。

※1千通貨であれば1,000円です。

この金額が多いと感じるようであれば、まずはデモトレードで、テクニックを鍛えるところから始めた方がよいかも知れません。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ FXの世界についての疑問

■ 36. 高値・安値を付けている時の相場参加者の心情

例えば、ドル円のチャートが 90.00 を底値に 95.00 まで上昇し 93.00 まで下がり、そこで反発して 100.00 まで上昇した場合の相場参加者の声は 90.00 から上昇している時は→「90.00 は安いから今のうちにたくさん欲しい」と言って買いが集まっています。

そして 95.00 にレートが差しかかった時に→「おや？いつのまにこんなに高くなったんだろうか 95.00 まで出す価値はないな」と、相場参加者が思います。ここで一人多くでも「それでも欲しい」というと 95.01 ともう一つレートがあるのですが、実際は 95.00 が頂点になったということは

【相場参加者全員が 95.00 より高いレートならいない】という結論を出したんです。

同じように 93.00 に下がっている途中は→
「こんな金額では欲しくないもっと安くないとエントリーしないよ」

そして 93.00 のレートになると→
「あれ？いつのまにこんなにお買い得になったんだろう。」となり
売り<買いエントリーの形になることによりレートの下降が止まります。

つまり **【相場参加者全員が 93.00 のレートはお買い得だ。と判断したんです】**
色々なニュースやテクニカルがありますが、そのすべての含んだ結果がそのレートです。こんなに正確な情報はありません。

このようにレートが止まった場所（高値／安値）というのは、相場参加者全員で出した多数決の結果です。

ダウ理論は、その位置がどのように上下しているかというものを見て現在のトレンドを判断しています。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 37. 投資の世界で歴然とある【平等】

実際のビジネスの世界と異なり、投資の世界はかなり平等な世界です。

例えば、僕が証券会社に50万の入金をしてドル円の95.00にエントリーの指値を注文したとします。

そしてこちらに、大富豪の人が同じ証券会社に10億円を入金してドル円の95.00にエントリーの指値を注文したとします。

レートが95.00にさしかかると、僕も大富豪も同じレート(95.00)でエントリーをします。

実際のビジネスであれば、大きな資本を持っている人しか参加出来ない競売等もあるように、お金を持っている人に有利な世界となっています。

決済でも同じことがいえて、その後、僕も大富豪も96.00に指値注文を入れ、実際96.00にレートが確定すると「大富豪にはお得になるように96.50で決済いたします」となることは無く2人とも同じ96.00で決済されます。

投資は実際のビジネスとは違い「フェアトレード」の世界です。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ FXの取引における疑問

■ 38. チャートを見ているときに考えてはいけないこと

チャート分析をしている時は、「儲ける事に集中すること」以外には、基本的に何も考えない方がいいです。

投資を始める時に見た夢や、「あのレートまで行けば、旅行に行ける」等、【投資を始めるためには欲望は必要ですが、投資を行う時は欲望は必要ありません】その欲望は分析を行う足を引っ張ってしまい、後でチャートを見た時に「なんでこのタイミングでエントリーしてしまったんだろう」というポイントになってしまうことがあります。

金額についてニヤニヤするのは分析やエントリーが終わってから、「今日も儲かった」と口座を見てニコニコすればいいんです。

ONとOFFを分けて活動しましょう。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 39. システムトレードの良いところ／悪いところ

何事にも良いところと悪いところがあります。

「こんなはずじゃなかった」って言っても誰も何もしてくれません。ただ、冷徹に資金が減っていくだけです。もちろん「初心者です。」といっても何も起こりません。

出来る事は「これでもいいからやろう」という判断です。

ではシステムトレードのよいところと悪いところを見て見ましょう。

- 良いところ・・・自分が見てなくてもよい
- ×悪いところ・・・どのようにエントリーしてるかわからない（抑制が効かない）

良いところは文字通り、「自分が見ていないところでも投資活動をしてくれる」というところです。いわゆるオペレーターのようなものです。自分が他の仕事をしていても、遊びに行ってもタイミングが来たらエントリーをしますし、決済もしてくれます。

ただ、それが故の弱点もあり自分で作った自動売買やシステムなら「そのシステムのやめ時」がわかります。

どこの誰が作ったのかわからない自動売買（弱点が解らない自動売買）や内容がよくわかっていないシステムトレード等は、資金が増えて入れば何の疑問も無く使用していただけます。

しかし、資金が減って来ると「このまま使っているのだろうか？」「もしかしてもうつかえなくなったのだろうか？」と何を信じればよいかわからなくなってきます。

一つの目安としてドローダウンという見方があります。

※ドローダウン…連続で負け続けている時の損益資金変化率

例1)

資金100万円→50万円→100万円の場合、ドローダウン50%

例2)

資金200万円→150万円→200万円の場合、ドローダウン25%

一般論として、最大ドローダウンが30%を超えるようであれば、リスクが多いと判断します。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 40. 冷静にトレード出来ないのはどんな時？

誰しも冷静じゃ無くなる場面があります。

お酒を飲んでいる時や、気分が悪い時等は集中力が低下して、普段では考えられないようなミスを犯す時もあります。

カジノ等でアルコールが無料で配られるのは、参加者の判断力を鈍らせる為だ、という話もあるぐらいですからね。

投資を行っている時もやはり同じで、目の前にお金がチラつく時・・・つまり欲が出ている時（残高が上下している時）等は、分析よりもお金を追っているため分析でも大事な項目を見逃していたり、後でみると「なんでこんな場所でエントリーしたんだろうか？」という場所でエントリーを行っていることがあります。

投資を始める時は「お金がほしい」というような欲から始まるのですが、実際の投資を行う時はその「欲」をなくさなくてはいけないという矛盾した考えを実行しなくてははいけません。簡単なものほど難しいものです。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 4 1. システムトレードって何がいの？

トレードするなら「システムトレード」が良いと何度か書いていますが
一体システムトレードの何がいのか？を説明します。

一言で言うと **【誰がやっても同じ結果になる】** というところです。

こうなったらこうするという流れが決まっているので、あとはどの条件が当てはまるかというだけになります。

その時に「レートが 80.00 だから」とか「このニュースがでてるから」などと言
う観念は無く、条件がそろえばエントリーをして決済をします。

アルバイトが仕事を覚えるマニュアルもシステムと同じシステムトレードも誰
がいつやっても同じ結果をだすためのただの手順書なんです。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 4 2. 身近にあるシステムの例を教えてください

たとえば、自動販売機もしっかりとしたシステム。

お金を入れる → ボタンを押す → その商品が出て来る
システムと言っても、聞きなれない理論は必要ありません。

こうすると → こうなる という流れを崩さないようにすることが
システムです。

他にも 『信号機』や『駅の自動改札』『電球を入れるスイッチ』
等、身近にたくさんのシステムに囲まれて生活しています。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 4 3. ストップが切れない根本的な原因

ストップ（逆指値）について根本的に間違っている考え方をしている人がいます。それは ストップにヒットすると負け。 というのは大きな間違いです。

投資はチキンレースじゃないので、いつまでも乗っていたら壁に激突します。そうなる前に車を止めて降りなくてははいけません。

そのラインが**ストップ（逆指値）**なんです。

「これ以上の損益は我慢できない」という位置にストップをいれるのは、そのためだからです。

「レートはいつか戻る」という考えは間違っていないですが、それが実行できるのは無限にお金がある場合だけです。

※そもそも無限にお金があれば投資はする必要がありません。

逆にストップに当たるということは損失をこれだけに抑える事が出来たつまり勝利にも近い行為です。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 4 4. ストップを入れないトレードを実生活で言うと・・・

『ストップなんてなんで入れるの』というのは、実生活で言うと車の保険には
いってないのに運転するようなもの。事故った場合、自分で全責任を負わな
くてはいけない状態です。

そうなりたく無いから、年間数万円のお金を払って事故に備えているんですよ
ね。

では改めて質問します。

「ストップを入れないトレードの何が安全なのですか？」

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 45. 相場は上がるか下がるかの2択じゃない

相場は上がるか下がるかの2択だから勝率は50%だから分析なんて関係ない。

という考え方がありますが、実際投資を行っている**勝率が50%の人ばかりではなく、理論上では20%**になります。

分析をして

- ①これからレートが上がると思えば 買いでのエントリーのタイミングを計り
- ②これからレートが下がると思えば 売りでのエントリーのタイミングを計り
- ③エントリーのタイミングがそろそろ来そうだという時は パターン完成まで待つ
- ④エントリーのタイミングが過ぎてしまった のであれば、次のタイミングまで待つ
- ⑤パターンが見えない のであれば他の通貨を分析する

と、5つのうち正解は一つ、つまり20%の確率で利益を上げる事が出来ます。

行動を起こすのが5つの内2つ、後は他の通貨を見るか待つという選択肢です。エントリーをするだけが投資ではありません。

エントリーするというのは長い投資の活動のたった一つの行為なんです。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 46. レバレッジって結局どういうこと？

レバレッジ200倍や40倍等と、証券会社によってレバレッジが異なりますが、一体レバレッジというのは何かというと、車で言うところの最高時速のようなものです。

そこまでの速度（最高時速200km/時や最高時速40km/時）を出せるというだけでいつも最高速度で運転してくださいという意味では無く、自分が怖くない速度で運転することが重要です。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 47. 忙しくてチャートを見ている時間が無い人は

投資は自由な世界です。 必ずやらなくてはいけない世界ではありません。

仕事や用事があって、チャートが見れない場合は無理してまで相場を張らなくてもいいです。【**まずは相場に向き合える環境作り**】から始める事が大切です。

1日の内に10～30分程度の時間なら取れるというのであれば、その中からエントリーできるシステムを作ればよく、週に1時間ぐらいしか見る事が出来ないようであればその時間でエントリーできるシステムを構築すればいいんです。

投資は自由な世界です、自分好みにシステムを作ることもできます。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 48. 経済指標の時はなぜ急激にレートが動くのですか？

普段チャートを見て「ドル円90円は安い」とか「高い」などは、誰もわからないままエントリーしていますが、経済指標で悪い結果が出れば「その国の通貨は弱くなってきている」と“国が”判断してくれるので、たくさんの注文が集まってきます。

そのレートを見てエントリーする人もいるので、エントリーがエントリーを呼ぶ格好になりとめどなくレートが動きます。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 49. 何故前回の経済指標より悪い結果なのにレートが動かない
んですか？

経済指数の発表が、前回より悪い結果が出たのでエントリーしたら、レートが動かなかった・・・ということがあります。その原因は“前回より悪い結果が出たから”みんなはエントリーしているわけではないんです。

俗に言う“織り込み済み”という状態で、今回の発表がある前にすでに前回より悪化するものが解っていた場合、【経済指標のページを見ると書いてあるが、「前回の数値」と、もうひとつ「予想」（コンセンサスとも呼ぶ）】

コンセンサスと同じ数値が出ても相場はあまり動きません。

相場参加者の気持ちは「ほら！やっぱり悪い結果が出た」と事前にエントリーしています。

経済指数でレートが動く時はコンセンサスと異なる結果になるとよく動きます。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 50. ビックマック指数って何ですか？

マクドナルドのハンバーガーは、世界中ほぼ同じ品質で売られてるという観点からその販売価格と為替レートを比較するというもの。

例) 日本でのビックマックの金額が300円だとする
アメリカでビックマックが2ドルで売られていた場合

ビックマック指数で考えると、

$$\begin{array}{rcl} \text{アメリカのビックマック} & = & \text{日本のビックマック} \quad \text{より} \\ 2 \$ & = & 300 \text{円} \\ 1 \$ & = & 150 \text{円} \quad \text{となる。} \end{array}$$

その時のドル円の為替レートが $1 \$ = 90 \text{円}$ であれば、「ビックマック指数の視点から考えるとまだ円安に動く（レートが上がる）可能性を残している」と分析できる。

[▲目次へ戻る▲](#)

■ 結論 FXにおいてマインドとは？

■ 5 1. 結局マインドって何ですか？

【マインド】というものはある事象に対しての事ではなく、
【あなたの土台となる】考え方、行動に至る一つの指標です。

さらに言うならば【あなたが貴方として行動する根本的なテクニカル】です。
下記にマインドを色々な側面から見たものを抜粋します。

○ミスを知るマインド

ミスをした人を指摘するのではなく、間違いを認めて直す事も大事です。

○人の話を聞くマインド

何をやる事が出来るかは、あなたの聞く体制によって大きく異なります。
根っから否定するのではなく、どの項目が自分に吸収できるかを考える。

○自分の命を守るためなら足を切断してもよいという発想

投資家として死なない（資金が底を突かない）ためには、多少の犠牲は
やむを得ない（犠牲は限りなく少ない段階で切り捨てる）事が必要。

○頭で理解するのではなく体で理解する

文章やセミナーでは頭や耳では理解できるが、実際行動をするときには
ケアレスミス等理屈に合わない行動になってしまうのは体で理解していな
いため、頭でわかったことを文字にして読んでみると何が理解出来てい
るか？出来ていないのか？が解ります

○分析は集合無意識、

成長するために個人の無意識にタッチする必要がある。
分析をするということはこれからこの集団はどの方向に向かうのか？を
見据える作業です。

ただ、自分が成長するには自分の得意分野や苦手分野を理解していないと、
無謀な状態というのが解らないまま投資を続けていってしまいます。

○「わかった」は解ってない

わかったという人は次の情報を欲しがっている場合が多いです。
何が解ったのか？というところを先ずは整頓しましょう。

○マインドはその人個人の土台であるため、為替以外の場面でも判断する時等にも出てきます。

分析は個性がでるので、自分の性格が分析に出る事があります。

荒い分析をするのか、リスクを取って分析をするのか？
自分の個性を認めてよりよいエントリーを目指しましょう！

○楽を求めるのであれば投資をするんじゃない。

銀行での利息が少ないから、将来が不安だからと投資を始めている方など、将来の安泰を目指すために今少しきついかもしれないが投資という世界に足を運んでいることが多いのでエントリーが辛いなら投資から一旦距離を取るのも良い方法です。やりたいことが出来るのが投資です。
逆を言うとやらないのも投資です。

○投資家はサラリーマンじゃなく社長（部下を食わしていかなければいけない）

投資活動は自分は全く肉体労働はする必要はありませんが、会社で言うところの経営のセンスが問われます。

働いている社員に給料を払う為には良い物件でお店を始める方がよい
トレンドに乗った商品を並べるのが良い。自分が欲しいからと言ってむやみに追加エントリーはしない等、当たり前なのが投資でも問われます。
投資の世界は何も特殊なことはありません。 日常の延長なのです。

[▲目次へ戻る▲](#)

Part2 トレーダーとしてのレベルアップの為に
第3章 マインド
株式会社チャートマスター